

新型コロナウイルスとともに生きる 長崎大司教区の基本方針

わたしたち長崎大司教区は、新型コロナウイルス感染症に対しての教区の対応を、長崎県自治体が発令する警報や宣言に合わせて行っています。

ところがこれまで、感染者が各地区内に出る度ごとに、お伺いを立てたり、事務局本部が緊急のお知らせの連発でご迷惑をおかけしたり、その後のこともどうするのかの見通しがないため、教区の皆さまにも、事務局の皆さまにもご心配やご負担をおかけしていました。

そこで、今一度、長崎教区の基本方針を確認し、ある程度それぞれの地区において見通し、あるいは隣接の地区や小教区との相談のもと判断できるようにしたいと考えます。

基本方針

長崎県自治体の指針に準拠し、新型コロナ感染対策を徹底する。

具体的には後記の判断基準に従いながら

1. **県全体**に警報や宣言が及ぶ時は、顧問団との話し合いのもと教区本部事務局からのミサや典礼のあり方のお知らせを行う。
2. **限られた地区**での警報や宣言が出された場合は、その地区の地区長とその地区評議会役員の皆様方、そして小教区の主任司祭との話し合いのもとで、ミサや典礼のあり方を判断していく。
判断の結果は、必ず地区長が教区本部事務局長に報告を行う。
3. **限られた小教区のみ**に関わる何らかの事態が生じた場合は、その小教区の主任司祭は教会役員の皆様方との話し合い、ならびにその地区地区長との相談の上で、また、近隣の小教区のことも考慮しながら、ミサや典礼のあり方を判断していく。
判断の結果は、必ず地区長が教区本部事務局長に報告を行う。

小教区での判断の具体的基準として、例えば、日曜日のミサに出席した人が、その週に感染あるいは濃厚接触者であることが判明した場合、それ以後の2回の日曜日公開ミサは自粛する。本人が感染あるいは濃厚接触者と判明した直前の日曜日に教会に行っていない場合には、小教区として公開ミサの自粛の必要はない。なお、本人は少なくとも2週間は教会に行くのを控える。

*上記以外でも、医療従事者や感染不安者（高齢者、基礎疾患等）は所属の主任司祭と相談の上、ミサ参加を控えることができる。

判断基準

自治体が表示レベル	感染状況	自治体発表内容	教会対応
1	感染散発	注意報	重要な数曲に限定して歌唱可 ミサ前後の会話も慎む
2-I	感染徐増	警戒警報	読誦（歌唱なし オルガン独奏） ミサ前後の会話も慎む
2-II	感染漸増	特別警戒警報 ----- まん延防止等重点措置	ミサでの交唱は司祭と先唱者のみにとどめ、他の信徒は沈黙で参加する （オルガン独奏） ミサ前後の会話も慎む ----- 対象地区では ミサ自粛は自主判断 公開ミサにおいては ミサでの交唱は司祭と先唱者のみにとどめ、他の信徒は沈黙で参加する （オルガン独奏） ミサ前後の会話も慎む
3	感染急増	緊急事態宣言	対象地区は 公開ミサ自粛
4	感染爆発	非常事態宣言	対象地区は 公開ミサ自粛
補足注意事項			対象地区が県全体に及ぶ場合は ライブ配信のミサ 注意事項 <u>※小教区や地区での自主判断の場は 役員との話し合いを忘れないこと</u>

最後に

新型コロナウイルス感染症の終息を願い求めながら、
コロナ禍で亡くなられた方々
困難や苦しみの中に置かれている人々のためにも祈りましょう。

わたしたちにできる支援も心掛けていきましょう。

追伸：この長崎教区の基本方針は 2022 年 3 月 1 日から適用することにいたします。2 月末までは前回（2 月 12 日）の教区の感染対策に準じてください。
従って、3 月 6 日の中村大司教様によるライブ配信ミサはありません。

2022 年 2 月 24 日

カトリック長崎大司教区
教区顧問団 一同